



## PGP NetShare について

PGP NetShare 製品は、データを保護および共有する複数の方法を提供するソフトウェア ツールです。


PGP NetShare を使用して以下のことを実行できます。

- 承認されたユーザーが、ファイル サーバー、共有フォルダ、USB リムーバブル ドライブなどの共有場所にある保護されたファイルを共有することができます。
- ハードドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用します。
- 暗号化された安全なジップ アーカイブを作成します。
- PGP NetShare または PGP Desktop がインストールされていない Windows システム上で開くことのできる、暗号化された単一の圧縮パッケージにファイルおよびフォルダを入れることができます。
- ファイルおよびフォルダを完全に破棄するので、ファイル回復用ソフトウェアを使用してもファイルは回復できません。
- ご使用のドライブの空きスペースを安全に消去するので、削除したデータが完全に回復不可能になります。

## 初めて PGP Desktop を使用する方へ

この詳細手順を示したガイドを使用して開始してください。PGP Desktop を使用すると、ご使用のデータの保護が鍵をかけるのと同じくらい簡単であることがわかります。

- この『クイック スタート ガイド』は、PGP NetShare をインストールする際の助けとなります。また、PGP NetShare および PGP Desktop の一部として含まれている他のセキュリティ機能の使用を開始する際のガイドとしても使用できます。
- 『PGP Desktop ユーザー ガイド』には、PGP NetShare に関するより詳細な情報が記載されています。ここでは、鍵ペアについて、鍵ペアを作成する理由、鍵ペアの作成方法、および鍵ペアを交換してご使用のデータを暗号化し、データを他のユーザーと安全に共有する方法について学習します。

 PGP NetShare ライセンスは、PGP Desktop 機能の特定のセットへのアクセス権を提供します。PGP Desktop の他の特定の機能では、異なるライセンスが必要な場合があります。ライセンスの詳細については、『PGP Desktop ユーザーガイド』を参照してください。

- PGP NetShare の導入の管理およびポリシー強制情報については、『PGP Universal 管理者ガイド』を参照してください。

### 目次

■ PGP NetShare について	1
■ 初めて PGP Desktop を使用する方へ	1
■ システム要件	1
■ インストールする内容について	2
■ 基本事項について	2
■ PGP NetShare のインストール	3
■ PGP NetShare のメイン画面	4
■ PGP NetShare の使用	5
■ PGP 仮想ディスク ボリュームの作成	6
■ PGP ジップ アーカイブの作成	7
■ ファイルの細断処理	10
■ 空き領域の細断処理	11
■ 詳細情報	12

### アイコン表記



メモ



注意

## システム要件

- Windows Vista、Windows XP (SP 1 または 2) Windows 2000 (SP 4)、および Windows 2003 Server (SP 1)
- 128 MB の RAM (256 MB を推奨)
- 64 MB のハード ドライブの空き容量

## インストールする内容について

PGP Desktop は、ユーザーが購入した機能へのアクセス権を提供するためにライセンスを使用します。ユーザーのライセンスに基づいて、一部またはすべての PGP Desktop ファミリーのアプリケーションがアクティブになります。

このドキュメントには、ご使用のライセンスでアクティブ化された機能を表示するための説明が記載されています。



**PGP NetShare** は、PGP Desktop ファミリーのアプリケーションの 1 つです。PGP NetShare を使用すると、会社のファイル サーバー、共有フォルダ、USB ドライブのようなリムーバブル メディアなどの共有場所にある保護されたファイルをユーザー間で共有することを承認できます。保護フォルダの暗号化されたファイルは、承認されたユーザーに対しては通常のアプリケーション ファイルとして引き続き表示されます。そのファイルへ物理的にアクセスできるそれ以外のユーザーは、ファイルを参照することはできますが、使用することはできません。

PGP NetShare に含まれる PGP Desktop のその他のコンポーネントは、以下のとおりです。



**PGP 仮想ディスク ボリューム** — ハード ドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用します。また、ボリュームに対して追加ユーザーを作成して、承認したユーザーがそのボリュームにアクセスできるようにすることもできます。PGP 仮想ディスクは、ご使用の機密ファイルを保管する完全な場所を提供します。これは、それらを金庫に保管するのと同じです。金庫の扉を開ける（ボリュームをマウントする）と、保管されているファイルを変更したり、ファイルを取り出したり、ファイルをボリュームに移動することができます。それ以外の場合（ボリュームのマウントが解除される）、ボリューム上のすべてのデータは保護されます。



**PGP ジップ** — 暗号化し圧縮されたアーカイブに、ファイルやフォルダを自由に追加します。PGP ジップ アーカイブを作成または開くためには、PGP NetShare または PGP Desktop をインストールする必要があります。PGP ジップは、機密データを配布またはバックアップする際に、安全にアーカイブするツールです。



**PGP 自己復号化アーカイブ (SDA)** — PGP NetShare または PGP Desktop がインストールされていない Windows システム上で開くことのできる、暗号化された単一の圧縮パッケージにファイルおよびフォルダを入れます。SDA は、PGP ソフトウェアをインストールしていないユーザーと安全にファイルを交換する完全なソリューションです。



**PGP シュレッド** — ファイルおよびフォルダを完全に破棄するので、ファイル回復用ソフトウェアを使用してもファイルは回復できません。Windows のごみ箱を使用してファイルを削除しても実際には削除されません。ファイルはドライブ上にあり、最終的に上書きされます。それまでは、攻撃者がそのファイルを回復することは容易なことです。対照的に、PGP シュレッドは、ファイルを複数回にわたって直ちに上書きします。これは、高度なファイル回復用ソフトウェアでもファイルを回復できないほど効果的です。また、この機能は、ご使用のドライブの空きスペースを完全に抹消するので、削除したデータが完全に回復不可能になります。

**鍵管理** — PGP NetShare は、ご使用の鍵ペアおよび他のユーザーの公開鍵の両方の PGP 鍵を管理します。あなたの秘密鍵を使用して、あなたの公開鍵を使用して暗号化されて送信されたメッセージを復号化し、あなたの PGP 仮想ディスク ボリュームを保護します。公開鍵を使用して、他のユーザーへのメッセージを暗号化したり、PGP 仮想ディスク ボリュームにユーザーを追加したりします。

## 基本事項について

インストール後に、PGP NetShare に PGP 鍵ペアを作成するよう表示されます。鍵ペアは、秘密鍵と公開鍵の組み合わせです。

- 名前が示すように、秘密鍵とそのパスフレーズは秘密にしてください。他のユーザーがあなたの秘密鍵とパスフレーズを入手した場合、他のユーザーがあなたのメッセージを読み、あなたになりすますことができます。あなたの秘密鍵は受信する暗号化されたメッセージを復号化し、送信するメッセージに署名します。
- あなたの公開鍵は、他のユーザーに渡すことができます。これにはパスフレーズがありません。あなたの公開鍵は、あなたの秘密鍵が復号化でき、あなたの署名を検証できるメッセージのみを暗号化します。

あなたの鍵リングは、あなたの鍵ペアと、暗号化されたメッセージを送信する他のユーザーの公開鍵の両方を保持します。[PGP 鍵] コントロール ボックスをクリックし、鍵リングの鍵を表示します。

- 1 PGP 鍵ペアのアイコンには、秘密鍵と公開鍵を示す 2 つの鍵があります。たとえば、この図では、Alice Cameron は PGP 鍵ペアを保持しています。
- 2 他のユーザーの公開鍵のアイコンには、鍵が 1 つだけ表示されています。たとえば、この図では、Ming Pa の公開鍵が鍵リングに追加されています。



## PGP NetShare のインストール

インストールプロセスではシステムの再起動が必要です。

PGP Corporation は、インストールを開始する前に、すべての起動中のアプリケーションを終了することを推奨します。



ご使用のライセンスによっては、PGP Desktop の特定のコンポーネントへのアクセス権がない場合があります。

PGP NetShare をインストールするには、次の操作を実行します。

**1** PGP NetShare インストーラ プログラムを探します。

インストーラ プログラムは、Microsoft SMS 導入ツールを使用して PGP 管理者により配布されている場合があります。

**2** インストーラをダブルクリックします。

**3** 画面に表示される指示に従います。

**4** 指示に従ってシステムを再起動します。

**5** システムを再起動した後は、画面上の指示に従って PGP NetShare を設定してください。



ご使用の PGP Desktop ライセンスがサポートする機能を表示するには、PGP NetShare を起動し、[ヘルプ] メニューの [ライセンス] を選択します。緑のチェックマークが付いている機能が、アクティブなライセンスでサポートされています。この図では、PGP NetShare、PGP ジップ、および PGP 仮想ディスクがサポートされています。

## PGP NetShare の起動

PGP NetShare を起動するには、以下のいずれかの方法を使用します。

- **[PGP トレイ] アイコン** をダブルクリックする。
- **[PGP トレイ] アイコン** を右クリックして、**[PGP Desktop を開く]** を選択する。
- **[スタート] メニュー** で、**[プログラム] > [PGP] > [PGP Desktop]** を選択する。

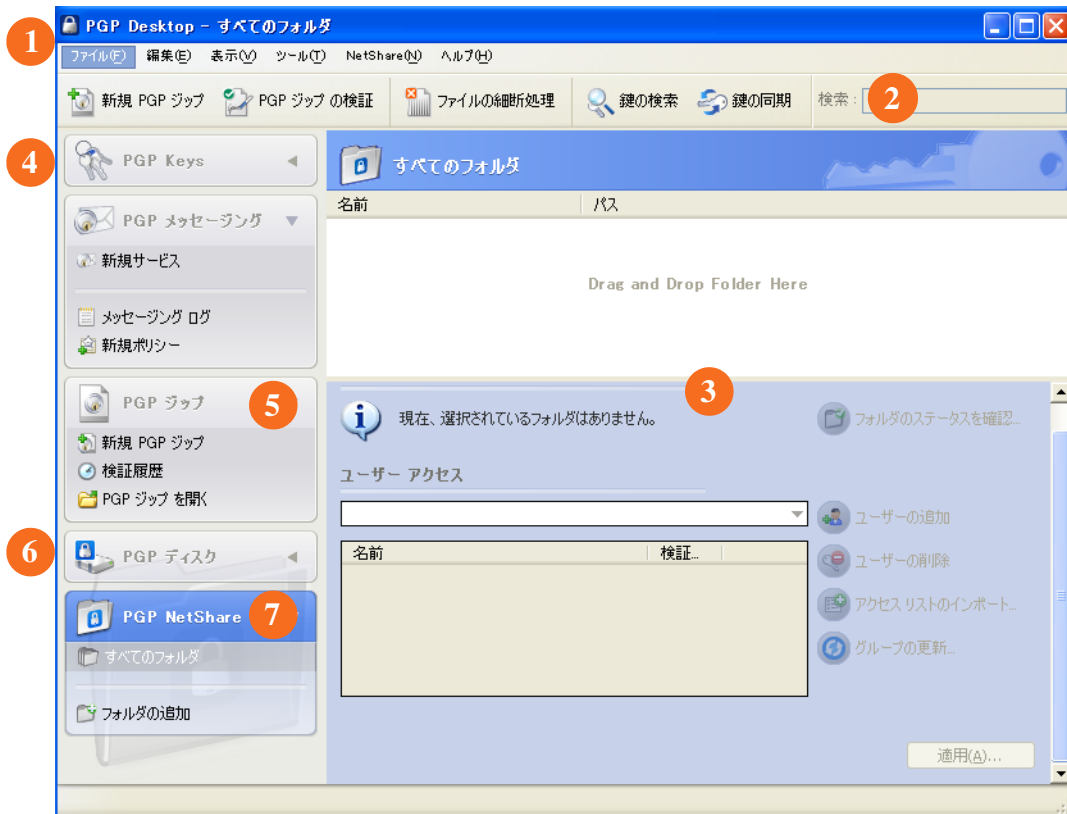


[PGP トレイ] アイコン

## PGP NetShare のメイン画面

PGP NetShare の機能にアクセスする最も簡単な方法は、メイン画面を使用することです。

- 1 **PGP メニュー バー** — メニューとコマンドを使用して、すべての PGP NetShare の機能にアクセスできます。
- 2 **PGP ツールバー** — 共通で実行されている複数の PGP NetShare タスクにアクセスできます。
- 3 **作業領域** — 作業領域のアクティブな機能を設定します。  
この図では、PGP NetShare 作業領域を示します。



- 4 **[PGP 鍵] コントロール ボックス** — ご使用の PGP 鍵を管理します。
- 5 **[PGP ジップ] コントロール ボックス** — PGP ジップアーカイブを管理します。
- 6 **[PGP ディスク] コントロール ボックス** — PGP 仮想ディスク ボリュームおよび PGP ディスク全体暗号化ドライブを管理します。
- 7 **[PGP NetShare] コントロール ボックス** — PGP 仮想ディスク ボリュームおよび PGP ディスク全体暗号化ドライブを管理します。

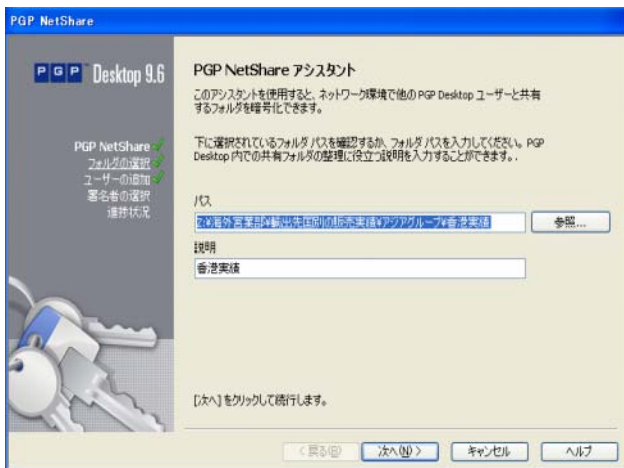
## PGP NetShare の使用

PGP NetShare 機能を使用すると、承認されたユーザーが保護されたファイルを共有することができます。最初に、保護フォルダを作成し、そのファイルを使用するために承認される必要のあるユーザーを指定する必要があります。

- 1 [PGP NetShare] コントロール ボックスで、[ フォルダの追加 ] をクリックします。



[ フォルダの選択 ] 画面が表示されます。



- 2 [ 参照 ] をクリックし、保護フォルダにするフォルダを選択します。
  - 3 [ 説明 ] フィールドに、作成中の保護フォルダの説明を入力するか、空白のままにしてデフォルトの名前を使用します。
  - 4 [ 次へ ] をクリックします。
- [ ユーザーの追加 ] 画面が表示されます。



- 5 保護フォルダ内のファイルの承認されたユーザーを指定するには、下向きの三角形をクリックし、ユーザーを選択して [ 追加 ] をクリックします。

自分自身が保護フォルダ内のファイルにアクセスするのに承認される必要がある場合は、自分自身を追加してください。

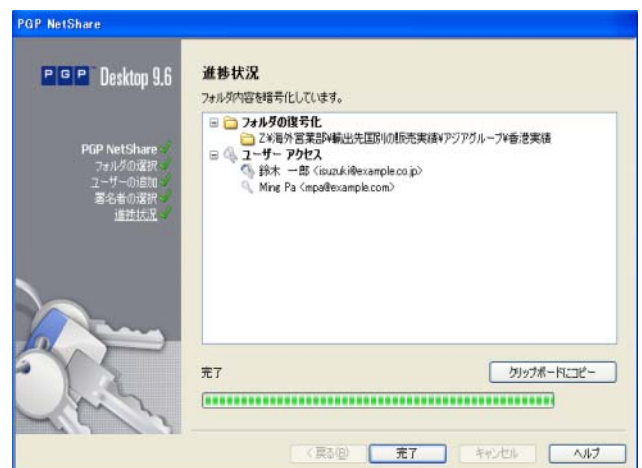
- 6 [ 次へ ] をクリックします。
- [ 署名者の選択 ] 画面が表示されます。



- 7 ローカルの鍵リングから秘密鍵を 1 つ選択し、適切なパスワードを入力します (パスワードがキャッシュされていない場合)。

この鍵は、保護フォルダおよびその中のファイルの PGP NetShare 設定情報を安全にするために使用されます。

- 8 [ 次へ ] をクリックします。
- [ 進捗状況 ] 画面が表示されます。



これで、指定した保護フォルダ内のファイルが暗号化され、指定されたユーザーがファイルを使用できるように承認されました。

- 9 [ 完了 ] をクリックしてください。



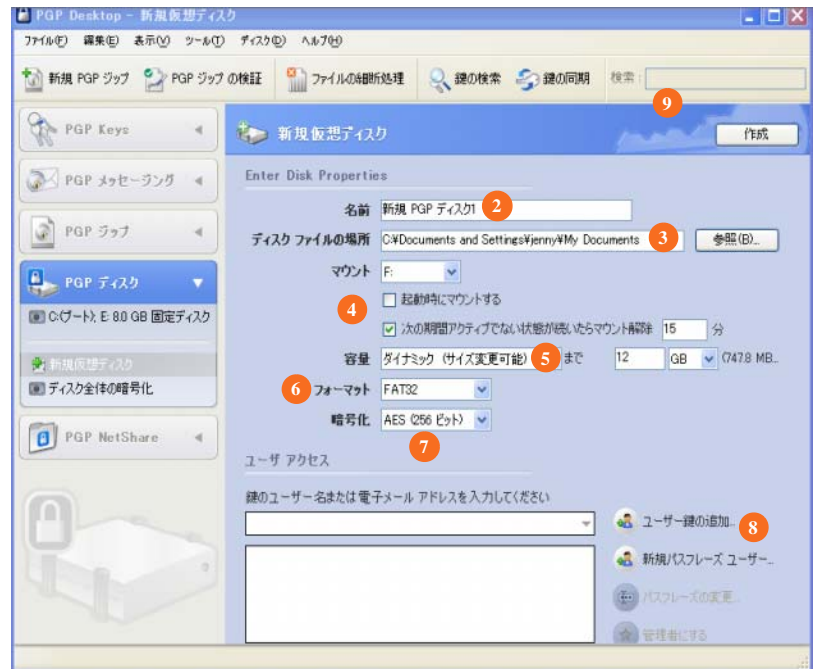
## PGP 仮想ディスク ボリュームの作成

PGP 仮想ディスク ボリューム機能は、ハード ドライブ領域の一部に独自のドライブ文字を割り当て、暗号化された仮想ディスク ボリュームとして使用します。また、ボリュームに対して追加ユーザーを作成して、承認したユーザーがそのボリュームにアクセスできるようにすることもできます。

- 1 [PGP ディスク] コントロール ボックスで【新規仮想ディスク】をクリックします。



- 2 ボリュームの【名前】を入力します。
- 3 ボリュームの【ディスク ファイルの場所】を指定します。
- 4 マウントの設定を選択します。
  - ボリュームのドライブ文字を【マウントするドライブ文字】に選択します。
  - 新しい仮想ボリュームがコンピュータの起動時に自動的にマウントされるようにするには【起動時にマウントする】をオンにします。
  - 指定した時間（分単位）ボリュームが使用されない場合に自動的にマウントを解除するには【次の期間アクティブでない状態が続いたらマウント解除】をオンにします。
- 5 【容量】で、ファイルを追加するにつれてボリュームのサイズが増えるようにするには【ダイナミック（サイズ変更可能）】を選択し、ボリュームのサイズを常に一定にするには、【固定サイズ】を選択します。
- 6 ボリュームのファイルシステムの【形式】を指定します。
- 7 ボリュームの【暗号化】のアルゴリズムを指定します。
- 8 公開鍵暗号化方式を使用して認証を行うユーザーを追加するには【ユーザー鍵の追加】をクリックし、パスフレーズを使用して認証を行うユーザーを選択するには【新規パスフレーズ ユーザー】をクリックします。
- 9 【作成】をクリックします。



PGP 仮想ディスク ボリュームの既存のユーザーを管理するには【ユーザー アクセス】セクションを使用します。

- 1 公開鍵暗号化方式を使用して認証を行うユーザーを追加するには、【ユーザー鍵の追加】をクリックします。
- 2 パスフレーズを使用して認証を行うユーザーを追加するには、【新規パスフレーズ ユーザー】をクリックします。
- 3 パスフレーズ ユーザーのパスフレーズを変更するには、そのユーザーを選択し、【パスフレーズの変更】をクリックします。
- 4 ユーザーに管理者権限を付与するには、そのユーザーを選択し、【管理者にする】をクリックします。
- 5 ユーザーを削除するには、そのユーザーを選択し、【削除】をクリックします。



## PGP ジップ アーカイブの作成

PGP ジップ アーカイブを使用すると、圧縮されたアーカイブに、ファイルやフォルダを自由に追加できます。PGP ジップ アーカイブには以下の 4 種類があります。

- 受信者鍵。アーカイブを公開鍵で暗号化します。対応する秘密鍵の所有者のみがアーカイブを開くことができます。これが最も安全な PGP ジップ アーカイブです。受信者は、PGP NetShare または PGP Desktop for Windows を使用する必要があります。
- パスフレーズ。アーカイブをパスフレーズで暗号化します。これは受信者に伝える必要があります。受信者は、PGP NetShare または PGP Desktop for Windows を使用する必要があります。
- **PGP 自己復号化アーカイブ**。アーカイブをパスフレーズで暗号化しますが、受信者はアーカイブを開くのに PGP NetShare または PGP Desktop for Windows を使用する必要がありません。パスフレーズは受信者に伝える必要があります。
- 署名のみ。アーカイブを暗号化せずに署名することで、ユーザーが送信者であることを証明します。受信者は、アーカイブを開いて検証するのに、PGP NetShare または PGP Desktop for Windows を使用する必要があります。

パスフレーズおよび署名のみの PGP ジップの詳細については、『PGP Desktop ユーザー ガイド』を参照してください。ここでは簡単に説明します。

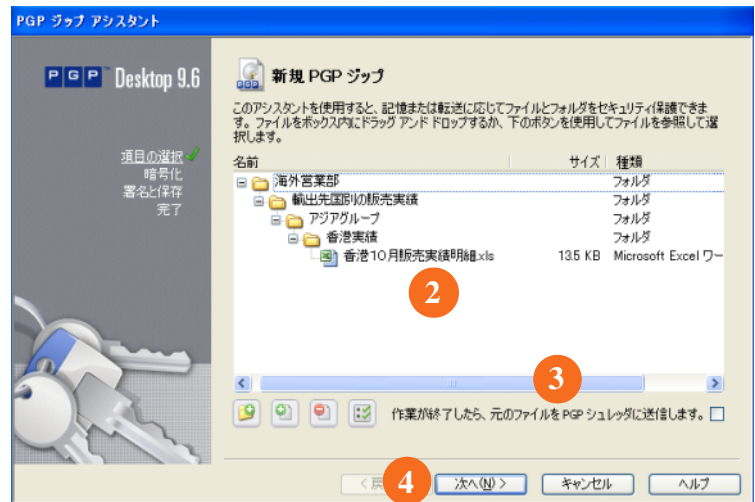
- 1 [PGP ジップ] コントロール ボックスで、[ 新規 PGP Zip] をクリックします。



- 2 アーカイブに含めるファイルやフォルダをドラッグアンドドロップするか、ボタンを使用してそれらを選択します。

- 3 アーカイブを作成した後、アーカイブに含めたファイルやフォルダを細断処理するには、[ 作業が終了したら、元のファイルを PGP シュレdda に送信します] を選択します。

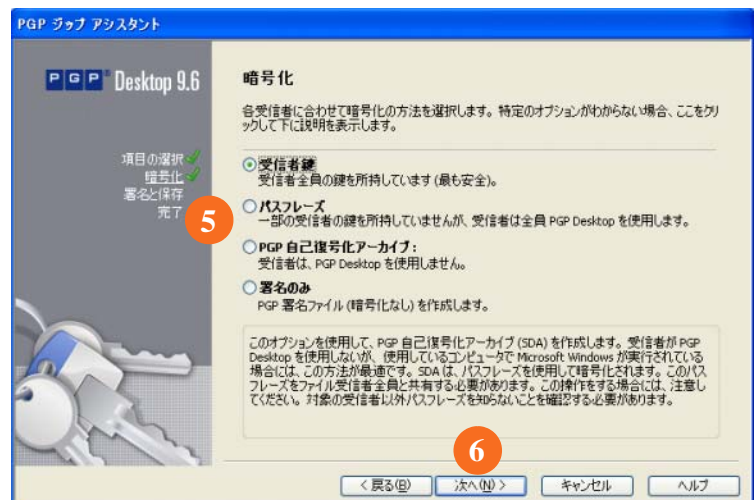
- 4 [次へ] をクリックします。



- 5 必要な種類の PGP ジップ アーカイブを選択します。

- 受信者鍵
- パスフレーズ
- **PGP 自己復号化アーカイブ**
- 署名のみ

- 6 [OK] をクリックします。



パスフレーズおよび署名のみの詳細については、『PGP Desktop ユーザー ガイド』を参照してください。

指定した PGP ジップ アーカイブの種類に応じて、以下のページの適切なセクションを参照してください。

## PGP ジップ アーカイブの作成 ( 続き )

### 受信者鍵

【ユーザー鍵の追加】画面が表示されます。

- 1 【追加】をクリックし、【ユーザー選択】画面を使用して、アーカイブを開けるようにするユーザーの公開鍵を選択します。

自分自身でアーカイブを開けるようにするには、あなたの公開鍵を含めるようにしてください。

- 2 【次へ】をクリックします。

- 3 アーカイブに署名するために使用するローカルシステム上の秘密鍵を選択します。

- 4 アーカイブの名前および場所を指定します。

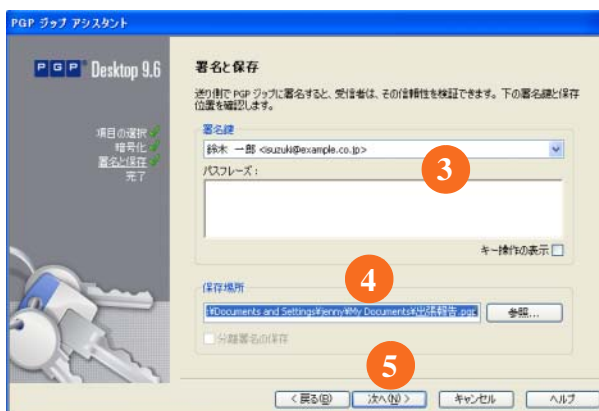
デフォルトの名前はアーカイブの最初のファイルまたはフォルダの名前であり、デフォルトの場所はアーカイブに含めるファイルやフォルダの場所です。

- 5 【次へ】をクリックします。

PGP ジップ アーカイブが作成されます。

【完了】画面に新しいアーカイブに関する情報が表示されます。

- 6 【完了】をクリックしてください。



**i** PGP ジップ アーカイブの種類のパスフレーズは、受信者鍵とよく似ています。異なる点は、鍵の代わりにパスフレーズがアーカイブを保護するために使用されることです。

**i** PGP ジップ アーカイブの種類の署名のみは、受信者鍵と似ています。異なる点は、アーカイブが署名のみされていて暗号化されていないため、公開鍵を選択しないことです。



## PGP ジップ アーカイブの作成 ( 続き )

### PGP 自己復号化アーカイブ

【パスフレーズの作成】画面が表示されます。

1 PGP ジップ自己復号化アーカイブ (SDA) のパスフレーズを入力し、パスフレーズをもう一度入力します。

2 【次へ】をクリックします。



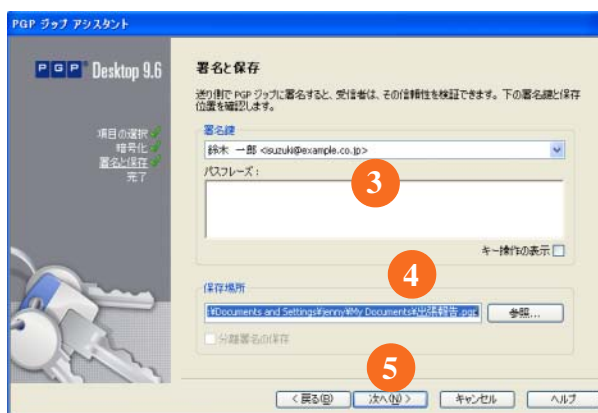
3 アーカイブに署名するために使用するローカルシステム上の秘密鍵を選択します。

4 アーカイブの名前および場所を指定します。

デフォルトの名前はアーカイブの最初のファイルまたはフォルダの名前であり、デフォルトの場所はアーカイブに含めるファイルやフォルダの場所です。

5 【次へ】をクリックします。

これで PGP SDA が作成されました。



6 【完了】をクリックしてください。



## ファイルの細断処理

PGP シュレッタ機能は、ファイルおよびフォルダを完全に破棄するので、高度なファイル回復用ソフトウェアを使用してもファイルは回復できません。[PGP シュレッタ] アイコンおよび Windows のごみ箱の両方がデスクトップ上に表示されている場合でも、PGP シュレッタのみが直ちに指定したファイルを上書きするので、回復できません。

次のいずれかの方法で、ファイルを細断処理できます。

- [PGP シュレッタ] アイコンを使用する。
- PGP ツールバーを使用する。
- PGP コンテキスト メニューを使用する。

### [PGP シュレッタ] アイコンの使用

[PGP シュレッタ] アイコンを使用してファイルを細断処理するには、次の操作を実行します。

- 1 Windows デスクトップで、細断処理するファイルおよびフォルダを PGP シュレッタにドラッグします。

ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

- 2 **【はい】** をクリックします。

指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



### PGP ツールバーの使用

PGP ツールバーを使用してファイルを細断処理するには、次の操作を実行します。

- 1 PGP ツールバーの **【ファイルの細断処理】** をクリックします。

- 2 細断処理するファイルを指定します。

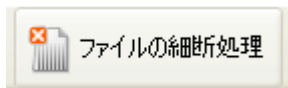
Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択することも、Ctrl キーを押しながら A キーを押すことですべてのファイルを指定することもできます。

- 3 **【開く】** をクリックします。

ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

- 4 **【はい】** をクリックします。

指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



### PGP コンテキスト メニューの使用

Windows エクスプローラからファイルを細断処理するには、次の操作を実行します。

- 1 Windows エクスプローラを開きます。

- 2 細断処理するファイルまたはフォルダを右クリックし、**[PGP Desktop] > [PGP 細断処理 <ファイル名>]** を選択します。

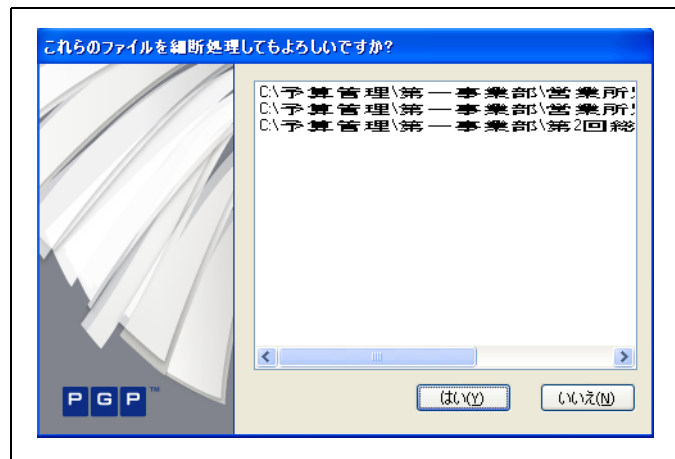
Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択することも、Ctrl キーを押しながら A キーを押すことですべてのファイルを指定することもできます。

複数のファイルを選択した場合は、テキストで **PGP が x 個** の項目を細断処理しましたと表示されます。ここで、**x** は、選択されたファイル数を示します。

ファイルを細断処理するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

- 3 **【はい】** をクリックします。

指定したファイルおよびフォルダが細断処理されます。



PGP シュレッタ機能を頻繁に使用しない場合は、[PGP オプション] を介して、デスクトップから [PGP シュレッタ] アイコンを削除できます。[オプション] パネルにアクセスして **【ディスク】** タブをクリックし、**【デスクトップ上に [PGP シュレッタ] アイコンを置きます】** オプションを選択解除し、**【OK】** をクリックします。



[PGP オプション] を使用して、細断するときに作成されるパスの数 (パスが多くなれば安全になりますが長くなります)、Windows のごみ箱を空にしたときに中のファイルを細断処理するかどうか、および細断処理するときに警告ダイアログを表示するかどうかを管理できます。

## 空き領域の細断処理

PGP 空き領域細断処理機能は、ご使用のドライブの空きスペースを完全に細断処理するので、削除したデータが完全に回復不可能となります。「空き領域」は実際には誤った呼称であることに注意してください。PGP 空き領域細断処理は、Windows が空と認識するハードドライブの一部を上書きします。実際には、その領域は空であるか、Windows が削除したと示すファイルを保持している場合があります。

Windows のごみ箱にファイルを入れて空にしても、ファイルは実際には削除されません。Windows はそこに何もなかったかのように動作し、最終的にファイルを上書きします。それらのファイルが上書きされるまでは、攻撃者がそのファイルを回復することは容易なことです。PGP 空き領域細断処理は、この「空き領域」を上書きするので、ディスク回復ソフトウェアを使用してそれらのファイルを元に戻すことはできません。

ディスクの空き領域を細断処理するには、次の操作を実行します。

1 【ツール】メニューから **PGP 空き領域細断処理** を選択します。

2 最初の画面で説明を読み、【次へ】をクリックします。

3 【情報の収集】画面の【ドライブの細断処理】ボックスで、細断処理するディスクまたはボリューム、および PGP 空き領域細断処理が実行するパスの数を選択します。

パス数を選択する際には、次のガイドラインを参考にしてください。

- 個人ユーザー：3 パス
- 商用：10 パス
- 軍事用：18 パス
- 最大限のセキュリティ：49 パス

ドライブの細断処理：NTFS 使用回数 3 パス

☐ NTFS 内部データ構造の細断処理

この細断方法は安全ですが、細断処理の間はターゲットディスクを他の目的で使えないでください。このオプションはブートパーティションでは実行できません。

4 **NTFS 内部データ構造を抹消するかどうか**を選択（すべてのシステムで使用可能ではありません）し、【次へ】を選択します。

このオプションを使用すると、細断処理されていない可能性のある、内部データ構造の小さい（1 K 未満）ファイルが細断処理されます。

5 【細断処理の実行】画面で、【細断処理の開始】をクリックします。

**i** 【スケジュールを設定】をクリックして、空き領域の細断処理を今実行する代わりに、スケジュールを設定することができます。Windows タスク スケジューラがインストールされていることを確認してください。

空き領域の細断処理プロセスの長さは、指定したパスの数、プロセッサの速度、実行している他のアプリケーションの数などに左右されます。



6 細断処理セッションが完了したら【次へ】をクリックします。

7 【完了】画面で、【完了】をクリックします。

### 困ったときには

どの製品ドキュメントを使用できますか。

製品をインストールすると、以下のドキュメントがシステムにインストールされます。

- *PGP Desktop for Windows* ユーザー ガイド
- *PGP Desktop for Windows* リリース ノート

コンテキスト固有の情報については、製品のヘルプ メニューを使用できます。

テクニカル サポートへの問い合わせ方法について教えてください。

- PGP Corporation の製品サポートおよびカスタマー サービスについては、以下の PGP のサポート ポータルにアクセスしてください。

**<https://www.pgp.com/support>**

- PGP のサポート フォーラムにアクセスするには、以下を参照してください。  
**[forums.pgpsupport.com](https://forums.pgpsupport.com)**

PGP Corporation に対して、その他のお問い合わせを行う場合は、以下の PGP Web サイトに移動してください。**[www.pgp.com/company/contact.html](https://www.pgp.com/company/contact.html)**